



つづきブックカフェ：区内の小学校で

つづき図書館 ファン倶楽部 通信 vol.51



2020・初春

- 発行：つづき図書館ファン倶楽部
 - 住所：横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-7-503 (若杉)
mailto:wakasugi@c06.itscom.net/
ホームページ：tsuzuki.libraryfun.net/
 - 年会費：一口1,000円
 - 定例会：月一回
- つづき図書館ファン倶楽部は
2000年3月都筑区制5周年記念として都筑図書館がシンポジウムを開催。参加した区民サポーターが有志で図書館の価値を広める目的で結成しました。

私と図書館
横浜市中央図書館長 田雑 由紀乃

縁あって図書館で働くこととなり、本好きの方々の出会いがたくさんあって、ハッピーに過ごしています。

幼い時は、お人形ではなく、お気に入りの絵本をおんぶしているような幼稚園児でした。小学生になるころ、従妹のお下がり「少年少女文学全集 全五〇巻」をもらい、部屋の間で繰り返し読んでいたことを懐かしく思い出します。ハマッソコなので野毛山動物園や遊園地には、しょっちゅう親に連れられて行きましたが、図書館に寄った記憶はありません。でも、少し大きくなってからは、家の近所に移動図書館の車が来て、ワクワクしたことは覚えていません。大人になって読書量は落ちましたが、図書館で、自分が子供のころに読んだ本、エルマーの冒険、海底二万里…などが今も書架に並んでいるのを見ると、懐かしいですね。自由に想像をめぐらし、好きな登場人物になりきって、本の世界で遊んでほしい。本好きの子供たちの未来に幸あれ、と願います。

都筑図書館より 都筑図書館〒224-0032 市内都筑区茅ヶ崎中央 32-1 TEL: 948-2424 FAX: 948-2432

つづきブックフェスタ 2019 も好評のうちに終了しました。

先陣はひとハコ図書館、6人の方に館長になっていただき、メッセージや写真とともに、お勧め本の展示を行いました(11月9日より29日まで)。
パネル展示は21日から区民ホールで。



ワークショップ

今年は講演会とリンクした形で認知症関連パネルも併せて展示したことで、多くの関心を引き付けることが出来ました。

フェスタ当日の24日

図書館内でのワークショップ「作ってみよう絵本の表紙」(9名)、ホールでのパフォーマンスおはなし会(5グループ出演。観覧延べ83名)

午後は講演会「高齢者と図書館～いきいきと輝く～」と題し、筑波大学教授呑海沙織氏をお迎えし興味深くお話をうかがいました(58名)。



ライブラリーナイト

また、つどおう JiJiBaBa 隊、認知症予防&カフェとんとんセンター南、都筑図書館それぞれの発表と講師による講評、質疑と参加者の熱意を感じながら、会を終りました。さらに、図書館閉館後、図書館フロアがコンサート会場に変身!「秋のライブラリーナイト」本と音楽のコラボレーションと朗読を堪能し、一日の締めくくりとなりました(45名)。

企画・準備・PRなど、様々な面で試行錯誤が続き、11月を疾走しました。協力・参加・応援・観覧・閲覧などなど、関わっていただいたすべての方々に深く深く感謝申し上げます。(都筑図書館 鈴木純子)



パフォーマンス



ひとハコ図書館



講演会



パネル展示

都筑図書館司書のおススメ本

大人向けの本④

『祖父母手帳 もう孫育てで悩まない! 祖父母&親世代の常識ってこんなにちがう?』 森戸やすみ/監修 日本文芸社(2017年)

赤ちゃんのいる生活はとて大変。おじいちゃんやおばあちゃんは身近な経験者としてパパやママの力になりたいところでしょうし、頼りにされることでしょう。

ところが、「常識」は時の流れとともに変わるので、「自分の育児ではこうした」ということが現在では通用しないこともあるものです。また、現役当時は育児をご家族にまかせきりでリタイアした今なら時間的な余裕があつてお孫さんのお世話をしたいけれど、育児に関する経験や知識がない、という方も中にはいらっしゃるのではないのでしょうか。

母子手帳ならぬ「祖父母手帳」と題したこの本では、「妊婦は温泉に入ってはいけないというのは本当ですか?」「カフェインや嗜好品は全部ダメですか?」「乳製品やお菓子を食すると乳腺炎になるのでしょうか?」「ひんぱんに抱っこすると抱きぐせがついてよくないのでしょうか?」などなど、妊娠・育児に関してよく耳にする事柄をとりあげて解説されています。そのほか、抱っこや粉ミルクの作り方、オムツ交換やスキンケアなど、実際のお世話の手順についても具体的に図解されています。頼りたいと思いつつ祖父母世代とのギャップに戸惑う親世代も参考にできそうです。(高原理津子)



子ども向けの本④

『岸辺のヤ〜ビ』 梨木果歩/著 小沢さかえ/画 福音館書店

『西の魔女が死んだ』などの作品で知られる梨木果歩さんの、久しぶりの児童書です。(2015年刊、今年8月に続編『ヤ〜ビの深い秋』も刊行) 梨木さんのエッセイ『やがて満ちてくる光の』(新潮社)の抱腹絶倒の1節を、「聞いて聞いて〜!」と昼休みの職場で読み聞かせた私に、同僚の一人がこれも良いよ〜と勧めてくれました。

ヤ〜ビは、ふわふわの毛につつまれた、二本足で歩くハリネズミのようなとてもふしぎな生きものの“クイー族”の小さな男の子。湖沼である日、偶然に出会った人間の“先生”が、その物語を語り伝えてくれる形になっています。

古き良き時代の児童文学を思わせるような文体で、小さな出来事も情景が目に浮かぶよう、私にはヤ〜ビたちをめぐる“世界”がとても愛しく感じられます。

ファンタジーとはいえ現代の世情を映して、環境問題やヤ〜ビたち(実は私たち人間も?)存続の懸念が底流しています。何を見つめどうあるべきかが著者のテーマの1つと思いますが、この向き合い方は一つの目安にならないのでしょうか? 子どもたちはこの本をどのように読むでしょう? 装丁も美しいこの本を、大切にそっと書架に置きたいと思います。(清水ますみ)

ファン倶楽部メンバーのおススメ本

『貸出禁止の本をすくえ!』アラン・グラッツ ほるぷ出版

ある日、自分の大好きな本が、何冊も、小学生にはふさわしくないと図書室で貸出禁止に。主人公たちは対抗するが、次々問題発生。禁止本は本当にアメリカでクレームがついたことがあるという。自由に読めるって大切!(伊藤紀久子)

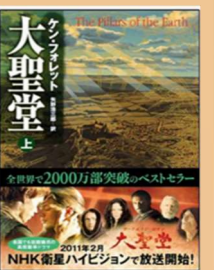


『教育格差 一階層・地域・学歴』松岡亮二・著 筑摩書房(ちくま新書) 相対的貧困にある子どもの数は1980年代から変わらず、教育格差も2000年以降続いていた。戦後の日本は、生まれにより最終学歴が規定される「緩やかな身分社会」だった……圧倒的なデータ量で教育格差の実態を明らかにし、現実的な対策を提案する。気鋭の研究者による注目の書。(坪内一)

『大聖堂』上・中・下 ケン・フォレット 著矢野浩三郎 訳ソフトバンク文庫 12世紀のイギリスの架空の町キングスブリッジで、その町の修道院長となるフィリップを中心に修道士たちの駆け引きや、大聖堂を建てたいトムとその家族の話や、その町の領主の横暴など様々な人間模様が描かれている。(中村葉子)

『あいうえ あそぼう としょかんで』 草谷桂子著 子どもの未来社刊

開くとカルタのようにになっている絵柄でリズムも良く、図書館が好きになりすぐ行きたくなる!さすが草谷さん!図書館の神様みたいに知りつくしているから実に面白い!大事なことを楽しく伝えてある。ほれほれするよ!(長野ヒデ子)



～あっちこっちに絵本を楽しむ人の輪を～ 走りました～！つづきブックカフェの1年

オレンジボーイが、走り始めたのは2019年1月15日です。以来1年間で30回ブックカフェを開いてきました。

ブックカフェを開く場所はいろいろで、桜の咲く地区センターでも、中学校の中庭でも、小学校の教室でも、団地でも、寺院のお庭を眺めながらも。緑道や、駅前や、畑にも行きました。なんと、10月には筑波大学とつくば市から招かれて、キャンパス内と駅前でもブックカフェを開きました。

絵本を読む場所もいろいろで、自分だけの気持ちのよい場所を選ぶのがブックカフェの特徴です。テーブルの前でお母さん(お父さん)と一緒にというのが多いのですが、草はらに寝転んだり、敷物に赤ちゃんをお昼寝させながらママが本を読みふけったり。子どもたちの人気の場所はオレンジボーイの中で、特に運転席の上の「2階」が大人気。そこに顔が並んで下の観客席と立体的な紙芝居劇場になったこともありました。

読み聞かせはボランティアのみなさん。都筑図書館で「よんであげますよ～」の活動をしている方たちが、ブックカフェでも絵本を一对一で読んであげます。子どもも絵本も、初めましての出会いですが、その時間が大好きというボランティアの方たちのおかげで、それがつづきブックカフェの大きな魅力の一つになっています。

今後も、いろいろなところでブックカフェを開いていきます。今度はあなたの家のそばに行きましょう！

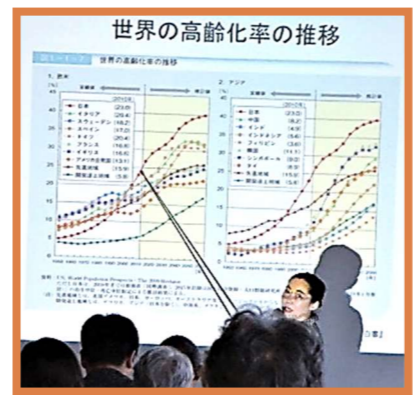


ふれあいの丘駅前



窓から日差しが入るオレンジボーイの中

ご支援に感謝 つづきブックカフェ実行委員会はつづき図書館ファン倶楽部が呼びかけ、TDO(つづきこ読書応援団)の有志とまちづくり活動をしている人たちで2018年11月に結成しました。運営資金は皆さまからの寄付が中心で、クラウドファンディングで寄せられた140万円が大きな推進力です。また助成金「連合愛のキャンパ」「こども夢基金」なども活用しています。オリジナルバッジを寄付していただいた長野ヒデ子さん。「オレンジボーイ」を無条件で貸していただいている川田製作所の川田社長さん。駐車場を提供いただいている放課後デイサービス「レインボースマイル」さん。日常の運営は「ちよいボラ」に登録している皆さんの協力なしには成り立ちません。運転、おはなし会、ブッカー掛けチーム、テーブルや本箱などの制作チーム。皆さま、ありがとうございます。たくさんの方の力で、このまちがあつたかく元気になりますように・・・
つづきブックカフェ実行委員会 江幡千代子
◆実行委員会連絡先：080-027-2211(江幡) 080-6739-1139(若杉)



世界の中での日本の高齢化率をグラフで示す呑海さん

図書館のことについてよい講義になりました。初めて図書について、図書館について、深く知りました。

我が義母は生きる為の人生でありましたから学校もいけず趣味もなくただただ家族の為に生きて現在認知症真只中です。常に食事の心配ばかりしている義母を見ていると活字を読めたらなあとおつづく思うのです。

老夫婦二人とも読書の習慣がありません。その日暮らしの状態なので、できるだけ今後認知症の事に関心をもちたい。

図書館の役割が大きく広がり、変ってきているのを知りました。応援団いろいろあつて図書館も身近になりつつあります。

つづきブックフェスタ 2019 呑海沙織さん(筑波大学教授)講演会 (要旨)

本と図書館が健康寿命を伸ばす！

世界平均では3秒に一人が認知症になっています。日本は、世界の中でも高齢化の点ではダントツ一位です。日本では65歳以上の高齢者の7人に一人が認知症というのが現状で、2025年には5人に一人が認知症になると予想されています。

日本の施策大綱では「認知症について、共生と予防(認知症を遅らせること)」が目標とされています。

認知症の発症率は100%。「本が読めなくなる。コミュニケーションがとれなくなる。くり返しが多くなる」というのが認知症の一般認識ですが、正しい認知症の知識の普及が望まれます。

認知症の予防の点で、図書館がはたす役割は大きい。予防についての本のコーナーを設けたり、講演会のほか、図書館を学習拠点、すなわち「生きがい創出の場」とすること。「蓄積した知識や経験を図書館で活かすこと」が望まれます。具体的には、都筑図書館の高齢者のボランティアによる「よんであげますよ」の活動は好例です。

認知症への対策のひとつに認知行動療法があります。これは「心が動く」ことによって行動が変わるということ。具体的には、「できごと」をどう捉えるか。できごとを認識すると、気分の変化が起こり、行動へとつながって行くことが大切です。

認知症になっても、社会貢献がしたい、「役に立ちたい」という願望はあります。図書館はその願望をかなえ、行動へと結びつけるきわめて有効な施設です。
(参加者の木村博江さんのメモを寄稿頂きました。)

《編集註》講演の中で語られた「健康寿命日本一山梨県」関連で「日本の図書館2018」で人口当たり図書館数を調べてみました。山梨県：16千人に1館で図書館の数が全国一位！

参加者のアンケートより

高齢者と図書館を結びつけている研究者がいるとは知らなかった。図書館で認知症カフェや軽スポーツを楽しむイギリスの事例を知ることができた。いい情報でした。

必ず来る高齢という現象に自分はどうか生きていくのか改めて考えさせられました。

高齢化のグラフも目がさめる思いで見ました。横浜は図書館が少ないから健康寿命は短いのかもという気がかりでした。

読み聞かせの音源を新たなライブラリーにしたいと思う。出かけることが困難なレベルの人にも音源、点字、手話ビデオなどがあるとよいと思う。

たまたま図書館でチラシを見つけて良かった。呑海様のお話で、世界的な視野の中での都筑図書館の話が新鮮でした。「ニューヨーク公共図書館」の映画は長く感じましたが、今日はあつという間でした。

データで見る 横浜の図書館

横浜市では図書館の数が少なく、都筑区は人口21.2万人なのに都筑図書館1館しかありません。「横浜の図書館の発展を願う会」が2017年2月に横浜市会に提出した陳情項目は、①横浜市立図書館の「1区1館体制の見直し」②市立図書館の「基本計画」の策定③「図書館協議会」の策定の3点です。「横浜市の図書館2019」に載っている20の政令指定都市の比較表を見ると、市民一人当たりの貸出冊数、蔵書冊数、資料費、図書館費すべて横浜市は最低レベルです。行政・市民・企業の協働で、横浜市の未来を創っていきましょう。
(横浜の図書館の発展を願う会：福富洋一郎)

政令指定都市の市民一人当たりの水準

『横浜市の図書館2019』
『日本の図書館2018』より作成

	貸出冊数	蔵書冊数	資料費	図書館費
横浜市	2.8冊	1.1冊	59.5円	393.3円
	ワースト2位	ワースト1位	ワースト2位	ワースト3位
ワースト1位	2.7冊 福岡市	1.1冊 横浜市	55.2円 札幌市	327.2円 川崎市
ベスト1位	7.4冊 さいたま市	3.2冊 静岡市	237.3円 静岡市	1461.7円 浜松市

ファン倶楽部メンバーのココロ

- ・今の学校でも、先生から「学校司書さんってプロですね」と言ってもらえた。大したことはできてないが、嬉しい!!!また頑張ろう！(紀)
- ・最近暖かい日にベランダにカメムシがいる。しかも複数。大きいので体長は3センチくらい。せっかく洗濯物もたくさん干して充実感を味わっているのにギョッと。虫は嫌いなんです。(吉)
- ・健康寿命のキーは読書・図書館！ 横浜の未来を見据えて、命を縮めるカジノではなく、命を伸ばし、心を満たす図書館でしょ。(わ)
- ・かわさき市民アカデミーで「図書館の課題と未来の姿」を講義。映画「ニューヨーク公共図書館」に触発された市民の発案で実現した講座で本質を突いた鋭い質問が続出、知的高揚感を味わった。図書館員や行政の参加者が少ないのは残念。(坪内)
- ・呑海先生の講演で高齢に必要だと思われるものは、病院、銀行、郵便局の次に図書館だとアンケートの結果が出たそうだ。誰もが歩いて行けるところに図書館が欲しい。(annie)
- ・2019年は大きな節目の年。平成から令和に、都筑区誕生25周年。私にとっても後期高齢者仲間入り。この際、ガラケイからスマホに、また終活活動を開始。2020年は都筑図書館誕生25周年。大きな改革を期待。(福)
- ・新たに課題型読書会を始めて、なんだかんだと月に3回程度楽しんでます。また、図書館帖普及委員会を設立し、訪ねた図書館の記憶を記録に残す活動もスタートし、図書コーナー巡りからそのうちに皆さまところにも。(田中)
- ・中村哲さんが銃弾で亡くなられたのは残念でならない。病気を治すのは飢えをなくすことと用水路を掘削し荒れ地に水を引き耕地がよみがえって、作物が実り、人々は笑顔を取り戻した。「本当に必要なことを見極めて行動する」の言葉。(え)